



学校通信

令和4年

6月14日

河北町立

谷地中部小学校

中部小らしい楽しい運動会をつくろう！

6月4日（土）、晴天の下、令和4年度の運動会を開催することができました。今年の運動会を実施するにあたっては、保護者の皆さまをはじめ、地域の皆さまより多大なるご協力とご理解を賜りました。改めて、御礼申し上げます。

今の思いも交えながら、令和4年度運動会の講評をさせていただきます。

6月2日（木）正午前、これまでに経験したことがないような突風がグラウンドを吹き荒れ、トラックの外側に設置していた20張のテントが一瞬にして吹き飛ばされたり、倒れたりしてしまいました。幸い人的な被害はありませんでしたが、支柱が曲がってしまったり、天幕が裂けてしまったりしたテントもありました。昼休み、一人の女の子が、「校長先生、運動会、できるの？」と私に話しかけてきました。

それから2日後、運動会の朝を無事に迎えることができました。グラウンドには、真っ白な天幕と強固な土嚢を巻き付けた20張のテントが子どもたちの活躍を応援するように堂々と立ち並びました。前日までの雨は、程よい湿り気を残し、とても走りやすい土壌を提供してくれました。運動会前の様々な出来事と最高のグラウンド・コンディションのもと、今年度の運動会は始まりました。

今年度のスローガンは、『目標に向かって 勝っても負けても 楽しい運動会をつくろう！』です。楽しい運動会…このスローガン通りの忘れられないシーンがありました。1年生80m走の場面です。男の子5人が一斉にスタートを切りました。本部テント前を通過するあたりもあまり差がついていませんでした。「がんばれ！」と声援を送ろうとした瞬間、彼らの笑顔が私の目に飛び込んできました。みんなとても楽しそうに、しかもいっしょけんめいに走っています。その中には、以前、「運動会、ぼく、楽しみ…」と話してくれた子もいました。1年生に限らず、所々から「やっぱり運動会って楽しいね！」という声が聞こえてきそうな今年の運動会でした。

「目標に向かって 勝っても 負けても 全校生の心が一つになる」場面も見られました。応援賞を目指しての応援合戦は、学校としての高まりを感じました。今年も、感染症対策を念頭に、みんなで知恵を出し合いながら、「安全で、しかも盛り上がる応援」を考え、取り組んでくれました。全校生が、赤組・白組の二つに分かれての応援合戦でしたが、これまでの取組み、そして、運動会当日の応援合戦を見て「学校が一つになるとはこういうことである」と、改めて目の前にいる子どもたちに教えられた思いです。

運動会を終えた今、心から「運動会をやってよかった！」という思いです。この状況下の中で最後までやり遂げた今年の運動会の経験が、子どもたち一人一人の大きな自信になってくれればと思います。 **Smile & Challenge!** ～夢をもち笑顔で挑戦するたくましい子どもたちへ～

校長 丹野 宏紀